

「CAN-DO リスト」で授業を変える！

(その5)

～「CAN-DO リスト」を単元・授業へ生かす②～

D中学校の2年生では、「話す力」の学習到達目標を、「CAN-DOリスト」の形で次のように設定しています。

- 【発表】** ○ インタビューした結果やグラフ等を見て要点をしっかりと押さえて説明することができる。(原稿あり)
- . . .
- 【会話】** ○ ALTとのインタビューで、双方向の情報のやりとりをすることができる。
- . . .

「CAN-DOリスト」の形で学習到達目標例

	第1学年	第2学年	第3学年
聞くこと Listening	○身近な話題の会話において、他の発言を理解し、あいづちなどを打つことができる。 ○ . . . ○ . . .	○身近な話題の会話において、他の発言を理解し、適切なあいづち等を打つことができる。 ○ . . . ○ . . .	○相手の話す内容に応じて適切なあいづちを打ったり、分からないところを聞き直したりすることができる。 ○ . . . ○ . . .
話すこと Speaking	○【発表】自己や他についての紹介を30語程度のスピーチを行うことができる。(原稿あり) ○ . . . ○【会話】ALTとのインタビューで、しっかりと応答することができる。 ○ . . . ○ . . .	○【発表】インタビューした結果やグラフ等を見て要点をしっかりと押さえて説明することができる。(原稿あり) ○ . . . ○【会話】ALTとのインタビューで、双方向の情報のやりとりをすることができる。 ○ . . . ○ . . .	○【発表】自分が得た情報を、即興で要点をはずさずに伝えることができる。(原稿なし) ○ . . . ○【会話】ALTとのインタビューで、双方向の情報のやりとりを正確な英語で行うことができる。 ○ . . . ○ . . .
読むこと Reading	○【内容理解(黙読)】120words程度の英文を、40wpm以上のスピードで読み、概要を捉えることができる。 ○ . . . ○【音読】1年教科書本文をゆっくりでも正しく音読することができる。 ○ . . .	○【内容理解(黙読)】160words程度の英文を、60wpm以上のスピードで読み、概要を捉えることができる。 ○ . . . ○【音読】2年教科書本文を、発音に気をつけて正しく音読することができる。 ○ . . .	○【内容理解(黙読)】250words程度の英文を、70wpm以上のスピードで読み、概要を捉えることができる。 ○ . . . ○【音読】3年教科書本文を、発音やリズムに気をつけて感情を込めて音読することができる。 ○ . . . ○ . . .
書くこと Writing	○自分のこと、身近なことであれば、3文以上の英文を書くことができる。 ○ . . . ○ . . .	○自分のこと、身近なことを中心に、4文以上のつながりのある英文を書く事ができる。 ○ . . . ○ . . .	○様々なことについて、5文以上のつながりのある英文を書くことができる。 ○ . . . ○ . . .

学習指導要領の「話すこと」の指導事項をしっかりと意識しており、生徒の実態等も考慮した質の高い「CAN-DOリスト」です。
今回は、評価の観点から見てみましょう。

Q 「話すこと」について、どのように評価すればよいですか？



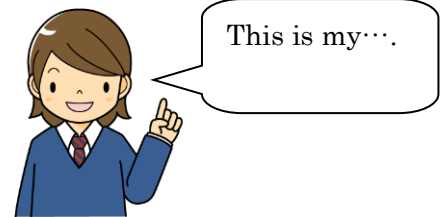


指導と評価は一体的であるので、上記の「話す力」を育成するための活動を設定すれば、生徒の状況を適宜観察することで、フィードバックする等指導に生かすことができます。

一方、「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標について生徒の達成状況を評価する場合は、単元等のある程度長いスパンで適切に設定した時期に評価することが必要です。

評価方法については、D中学校の「CAN-DOリスト」の「話すこと」の項目について考えれば、次のようなものが考えられます。

- インタビュー、スピーチ等の
パフォーマンス評価
- 活動の観察



スピーチやプレゼンテーション、会話等の「話す力」は、筆記テストでは生徒の学習状況を的確に評価することはできません。学習活動の特質に応じた的確に評価できる方法を選択することが大切です。

次の流れを確認してください。(話すことに絞ってみます。)

- 1 「話すこと」について、学習到達目標を設定する。(「CAN-DO リスト」に位置付ける。)
- 2 単元計画の中に、「話すこと」の学習到達目標達成を目指す言語活動を計画する。
- 3 学習状況を評価しながら、指導に生かしていく。
- 4 単元末に「パフォーマンス評価」を行う。
- 5 生徒の達成状況を把握し、指導に生かしていく。

各校で、「パフォーマンス評価」を単元末に位置付け、単元計画の中で言語活動を工夫し「話す力」の育成に取り組んでください。

<参考資料>

- ・各中・高等学校の外国語教育における「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標設定のための手引き